

最初の合掌 最初の礼拝

らい
はい

誰でも最初は

カタチから

手を合わせ「ナマステ」と挨拶するのを見たことはありませんか。

インド周辺で交わされる挨拶ですが、

調べてみると「あなたに帰依する・礼拝敬礼する」という意味でした。

人に出会うたびに「あなたに礼拝します」という挨拶をしているのですね。

その心が伝わった日本でも、手を合わす文化が広がり、

そこへ「おかげさま」や「感謝」「尊さ」などが加わり、

今日の合掌の形になったとされています。



浄土真宗本願寺派



「カタチ」で素晴らしいと感じたことがあった

トルコにあるイスラム寺院（モスク）で

礼拝の時間に遭遇した時のこと

ひとりが聖地メッカに礼拝を始めると

後から来た人はその横に並んで

あっという間に1列2列と増えていく

その姿が圧巻で

「合掌」としてのカタチではないけれど心に深く残っている

日本で「合掌」のカタチをよく見かけるのが

食事の時の『いただきます』と『ごちそうさま』

目の前の食事に感謝するだけでなく

その食事に至るまでの背景から

カラダを育むすべてにお礼をするカタチ

サッとできるこの「合掌」の中に受け継がれてきた

たくさんの物語が心に届いてくる

最初の合掌 最初の礼拝

誰でも最初は カタチから



食事のことば

(浄土真宗本願寺派 2009(平成21)年11月制定)

食前のことば **合掌**



多くのいのちと、みなさまのおかげにより、
このごちそうをめぐまれました。



深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。

食後のことば **合掌**



尊いおめぐみをおいしくいただき、
ますます御恩報謝につとめます。



おかげで、ごちそうさまでした。

この広告に対するご感想をお聞かせください。



本願寺山口別院

山口別院

検索

浄土真宗本願寺派山口教区教務所 〒754-0022 山口市小郡花園町3-7 TEL:083-973-4111 FAX:083-973-4631

